

公益社団法人美濃市シルバー人材センター

平成29年度事業報告

我が国の経済は緩やかな回復基調にある中、高齢者雇用安定法の改正により65歳までの定年引上げとともに継続雇用制度の導入や年金支給開始年齢の段階引上げ等高齢者を取り巻く環境も変化してきています。

また、労働人口の減少に伴い企業などの人手不足の解消に向けて「生涯現役」として健康で就労意欲のある高齢者にそのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又は軽易な就業」の場を提供することにより、社会に参加し地域づくりに貢献できるシルバー人材センターの果たす役割はますます求められています。

こうした中、シルバー人材センター適正就業ガイドラインによる適正な就業の見直しを行い、偽装請負とみなされる4件のうち3件は請負から派遣への切り替えができたものの、1件は会員を直接雇用へ切り替えられたことが要因で請負契約金額が減少しました。

一方、派遣事業においては人手不足の解消のため派遣依頼が8件増となり契約金額も大きく伸ばすことが出来ました。

また、会員拡大に向けて説明会を開催する等会員の増加を図って参りましたが、65歳までの定年引上げとともに、継続雇用制度の導入の影響を受け60歳から65歳までの入会を希望する会員が年々減少する一方高齢を理由に退会する会員が増加し年々会員数が減少してまいりました。

特に長年の経験を生かして就業していただいた会員が高齢により退会するなど人手不足が生じ剪定などでは人手不足を理由にお断りをしなければならないような深刻な状況となってきました。

このような中、役員、会員、事務局職員が共通の危機感を共有し、基本理念である「自主・自立」、「共働・共助」を再認識しながら、「会員の拡大」「就業機会の確保・提供」、「安全及び適正就業の徹底」等を推進するとともに、効果的に事業運営を行い、活力ある地域社会を支える組織となるよう努めてまいりました。

平成29年度の事業実績と経過については、次のとおりです。

◎主な事業実績

受託事業

項目	平成28年度	平成29年度	対前年比較
会員数	315人	302人	95.9%
受注件数	2,500件	2,452件	98.1%
契約金額	88,989,988円	78,019,032円	87.7%
就業延人員	21,779人	18,858人	86.6%

※受注件数は延べ件数

派遣事業

項目	平成28年度	平成29年度	対前年比較
会員数	49人	53人	108.2%
受注件数	28件	36件	128.6%
契約金額	11,438,469円	17,367,091円	151.8%
就業延人員	2,020人	3,429人	169.8%

※受注件数は延べ件数

◎事業実施結果

1. 事業実績

別表（1）事業実績

別表（2）職群別事業実績

別表（3）年度別契約金額の推移

2. 会員の状況

別表（4）会員登録状況

3. 普及啓発活動

- ・広報（機関）誌「シルバー美濃」を発行し、関係機関に配布すると共に、市内全域に配付してセンター事業及び会員の活動状況等をPRしました。
- ・「事務局だより」を毎月発行して、会員との情報交換に努めました。
- ・公民館等にチラシ、パンフレットを配布して事業の周知を図りました。
- ・センターのPRも兼ね、会員の作品展を中央公民館ロビーで行いました。

4. 就業拡大と就業率の向上

- ・就業機会創出員が年間を通して事業所や家庭を訪れチラシ、パンフレット、メモ帳を活用して就業機会の開拓やセンター事業のPRに努めました。
- ・毎月第3水曜日に入会説明会を行いました。
又、グラウンドゴルフ役員会で出前入会説明会を開催し新入会者の増員を図りました。

5. 講習会等の開催

- ・剪定講習会
日時：平成29年10月11日
場所：シルバー人材センター 10人
- ・交通安全教室
日時：平成29年10月25日
場所：シルバー人材センター 15人

6. 安全対策

- ・会員の安全就業の確保のため、安全委員会において安全パトロールを実施しました。

・事故発生状況

《 傷 害 事 故 》

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
発 生 件 数	0	1	0	0	0
就 業 中 事 故	1	1	0	0	0
途 上 事 故	0	0	0	0	0

《 賠 償 事 故 》

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
発 生 件 数	2	3	2	3	3
対 人	0	0	0	0	0
対 物	2	3	2	3	3

・平成 29 年度事故内容（主な職種）

〈対物〉

施設管理中誤って窓ガラスを破損	1 件
除草作業中飛び石により車の窓ガラス破損	2 件

7. 長期就業の是正

- ・適正就業の推進のため、会員の適正就業推進要綱に基づき、長期就業の是正に努めました。

8. シルバー派遣事業の実施

- ・会員の就業機会の確保と就業の選択肢を増やすとともに、適正就業と多様化する就業形態に対応するためパンフレットを作成し派遣事業の推進に努めました。

9. 独自事業

- ・会員の自主的な組織の「うだつ石鹼部会」と「焼きいも部会」が、産業祭、あかりアート展等のイベント会場で「石焼きいも・うだつ石鹼」の販売を行うことによりシルバー人材センターをPRすることができました。